

公益財団法人安城市学校給食協会
令和6年度第2回評議員会議事録

- 1 開催日時 令和6年11月21日（木）12時から午後1時15分
- 2 開催場所 安城市北部学校給食共同調理場 2階研修会議室
- 3 評議員数等
 - 総評議員数 6名
 - 出席評議員数 5名
 - 出席評議員 杉浦章介、中村麻理、稲留雄一、石川厚子、石川朋幸
 - 欠席評議員 浦田士郎
 - 出席理事 石川良一（理事長）、神谷 徹（副理事長）
- 4 評議員・役員以外の出席者
 - 久野晃広（教育振興部総務課長）
- 5 事務局
 - 鈴村公伸（事務局長）、原田淳一郎（事務所長）、香村正志（北部調理場施設長）、
筒井良廣（中部調理場施設長）、鈴木栄一（南部調理場施設長）
石倉真紀（協会栄養士）、中山衣里（事務局）、久野 武（事務局）
- 6 議題
 - 報告事項1 令和6年度予算執行状況について
 - 報告事項2 令和6年度事業実施状況について
 - 報告事項3 「学校給食に関する思い出の作文、絵画・ポスター及びメッセージ」の入選作品について
- 7 会議の概要
 - (1) 理事長あいさつ
 - 本日はご参集いただき、お礼申し上げます。今年の猛暑は長く続いたが、11月に入り一気に秋がやってきた感じである。学校では、新型コロナウイルス感染症もインフルエンザと同様の対応となり、合唱コンクールや文化祭といった日常の学校生活が送られている。今後も公益財団法人として一層の努力をしていくので、引き続き皆さまのご指導、ご協力をお願い申し上げます。
 - (2) 理事長の職務執行状況報告
 - 職務の執行状況として、今年度から新たに、南部調理場管内の卵除去と乳除去のアレルギー除去食が開始された。調理は北部調理場のアレルギー食調理室で行っており、2台の専用車で南部管轄の各学校に届けている。業務は本協会が受託している。食数については、北部が卵除去：38食、乳除去：14食の52食。南部が卵除去：31食、乳除去：18食で49食、合計で101食となっている。食育推進事業は、新型コロナウイルス感染症の影響も無くなり、「夏休み！ワクワク調理場探検」などが盛況に実施できた。また、10月17日には監事による中間監査を受けたが、適正な会計処理が行われていると確認していただいた。
 - (3) 理事長による議題説明

議題について簡単に説明する。報告事項1の令和6年度予算執行状況についてであるが、全般的には順調に執行されているが、食材費が高騰している。値上がりに対応した予算となっているが、不足する場合には補正予算を組んで市費で賄う協議がされている。次に、報告事項2の令和6年度事業実施状況についてであるが、食育推進事業を始め、各事業が順調に実施されている。最後に、報告事項3の「学校給食に関する思い出の作文、絵画・ポスター及びメッセージ」の入選作品についてであるが、夏休みの宿題としての課題を課さなくなったため、応募数が減少しているが、今回はメッセージについて取り組んでいただける学校が増えたので、25パーセントの増となった。入選作品が決まっており、こども達の給食への思いのこもった作品が揃っている。作文を読んできたが、個性あふれる面白い作品が多かった。自分でアンケートを取っている子や牛乳乾杯などの内容もあった。議題としては以上の3点となる。

(4) 出席数の確認

事務局長より、浦田士郎評議員が欠席であるが、定款で定める定足数を満たしており、会が成立することを確認した。

(5) 議長の選出

定款の規定に基づき、出席した評議員の互選により杉浦章介評議員を議長に定めた。

(6) 議事録署名人の選出

定款の規定に基づき、議長の杉浦章介評議員と出席した評議員の中から稲留雄一評議員及び石川朋幸評議員を議事録署名人に定めた。

(7) 議長あいさつ

副市長の立場で、次の報告をさせていただきます。7月にはパリオリンピックが開催され、ハンドボールの代表として安城市在住の渡辺仁選手が出場した。8月には南海トラフ臨時情報が出て身が引き締まるものだった。9月にはアリーナ建設竣工が2年遅れの令和10年3月となる発表をした。これは、働き方改革や大阪万博などによって建設業界が影響を受けたことによる。10月には「ららぽーと安城」の情報が正式発表された。西友、コロナワールド、無印良品などが入る。周辺住民からは交通渋滞が心配されているが、三井不動産側で右折帯の設置など対応していく。今年の猛暑により、菊花展の花がダメージを受けており、安城特産の梨も猛暑の悪影響を受けている。新高という品種は熱により袋の中で腐ってしまうなど大変な状況である。11月には近代五種全日本選手権大会が本市で開催された。市の12月議会では、人件費について人事院勧告に合わせて大幅アップになることがあり、これは中小民間企業でも大変なことではあるが、将来的には良いことに繋がると思っている。

報告事項1 令和6年度予算執行状況について

事務局長より、「令和6年度予算執行状況報告書」により説明を行った。貸借対照表について、I資産の部 1流動資産 現金預金が888万円余の減となっ

ているが、主なものは中段にあるⅡ負債の部 1 流動負債 預り金の528万円余の減である。これは、令和5年8月の社会保険料の納期が10月2日であったものが、令和6年は9月30日であったためである。また、2 固定資産 (2) 特定資産の退職給付引当資産が増加しているが、職員の退職に備えた引当金を所定の計算で積み増したものである。次に正味財産増減計算書について、中段の(2) 経常費用にある下から5行目の委託料が2,007万円余の増加となっているが、これはアレルギー除去食等の配送を新たに委託したためである。また、給食物資購入費は物価上昇により2,239万円余の増額となっている。財産目録について、中段にある流動負債の未払金は9月分の経費に関するものである。正味予算管理月報と事業別令和6年度予算執行状況について、前年度と同様に順調に執行されている。最後に中間監査確認事項について、10月17日に大見監事、若林監事に実施していただき、特段の指摘事項もなく、適正に会計処理が行われていることを確認していただいた。

議長より報告事項1の説明について質疑を求めたところ、次のとおり質疑があった。

石川朋幸 評議員

予算執行状況報告書9ページの中間監査確認事項の2 南部調理場アレルギー除去食について、南部調理場管内の小中学校に対するアレルギー除去食の提供が始まったが、北部調理場で調理するに至った経緯と、南部への配送方法を教えてほしい。

久野晃広 総務課長

南部調理場管内のアレルギー除去食について、北部調理場と同様に、南部調理場で調理し一般食と一緒にコンテナに入れて配送する方法を検討したが、南部調理場にはアレルギー食調理室を配置するスペースもなく、増築改修には長期の休業を伴うため、調理能力に余裕のある北部調理場で調理して南部に運ぶこととした。北部調理場で調理してから南部調理場に運ぶにしても、配送トラックには間に合わないので、北部調理場から軽ワンボックスカー2台で南部調理場管内の各小中学校に配送している。

石川朋幸 評議員

人材不足時代に調理場の業務は厳しいので離職も多いと思うが、過去5年の離職率を教えてほしい。また、ホームページに正規調理員の募集が出ていたが、採用状況についても教えてほしい。

事務局長

正規調理員の離職は、家庭の都合で辞められる方が年に1名程度だが、パート

職員については15～20%の方が離職する。その離職率は、令和元年度は17.4%、2年度は14.0%、3年度は20.4%、4年度は13.2%、5年度は16.4%で大きな変動はない。また、ここ1年はパートの補充が難しくなっていたので賃金の見直しを行った。令和7年度の正規調理員の採用状況は、4名の募集に対して17名の応募をいただき、無事に採用者の決定をした。

議長より報告事項1について他に質疑を求めたが、他に質疑はなく報告事項1の説明を終了した。

報告事項2 令和6年度事業実施状況について

給食事務所長より「評議員会資料」をもとにプロジェクターを用いて説明を行った。

(1) 学校給食に関する思い出の作文、絵画・ポスター及びメッセージの募集事業について、作文27点、絵画・ポスターは79点、メッセージは613点の応募があった。詳細については、次の報告事項3で説明する。

(2) 親子給食調理教室開催事業は、小学生とその保護者を対象に、人気の高い給食メニューである「ビビンバ」を、調理員の指導のもと、調理していただいた。会場は「へきしんギャラクシープラザ」のクッキングルームで、夏休み期間である7月31日と8月1日に開催した。参加者は7月31日が7組14人、8月1日が8組16人の参加で非常に好評であった。

(3) 調理場施設見学・試食会事業は、市内3調理場にて、来年の4月に市内の小学校、保育園・認定こども園等に入学・入園する保護者を対象に開催している。小学校新入学編の南部調理場は一昨日11月19日に13人参加で、北部調理場は昨日20日に19人の参加で開催した。保育園等新入園編の中部調理場では来年2月に予定している。

(4) 夏休み！ワクワク調理場探検では、普段立ち入ることができない調理場内で、調理方法や調理器具の使い方を体験することで、給食がどのように作られているか知っていただくよい機会となっている。夏休み期間中である7月24日に18人、同25日に17人の参加で開催した。参加者のアンケートから、いろいろな驚きや気づきがうかがえ、人気のあるイベントとなっている。

(5) 地元食材の啓発事業については、記載のとおりである。今年度の食育通信では安城でも収穫される冬が旬の「小松菜」をテーマに、生産農家さんに取材に出かけた。現在作成中であるが、来年1月に発行し、各小中学校の教室に掲示していただき、地場産農産物を知ってもらう。

(6) 食育普及啓発事業では保育園等や小学校に出向いて、衛生面の大切さや、給食調理場の様子をわかりやすく紹介する「出前講座」を実施した。この出前講座は

学校給食について知っていただく、第1歩となるものなので、本協会としても開催の依頼が増えるようにPR等に取り組んでいく。また、協会ホームページの、給食人気メニューのかんたんレシピに「キムタクご飯の具」を追加した。

次に、3ページの2 物資購入事業について、画面はお手元資料の表の合計の部分を示している。物資購入事業は本年度12億4千3百万円余の予算で給食の食材を購入している。昨年9月から安城市は小中学生の給食費を無償化としているが、価格と品質のバランスを取るための目安として、給食費を収入、給食の食材費を支出とした、「収支バランス」を算出している。9月末の累計で105.45%となっており、5%ほどが給食費では賄えない状況を示している。これは原材料、資材費、物流費の値上げに加えて、人件費の引き上げ、円安などにより、給食食材の価格が値上がっていることが影響している。給食費相当分に物価高騰分を加えた額を上限として、市費で対応することとしており、栄養価はもちろん、おいしい給食を引き続き提供していく。

次に3 給食調理事業について、(1)の基準食数は、少子化による減少であると思われるが、年々少しずつ減少している。4ページの(2)実施回数は、例年と同様の給食を実施できているが、保育園、こども園などは8月下旬から9月上旬にかけての台風10号の影響で2日給食が中止となった。

議長より報告事項2の説明について質疑を求めたところ、次のとおり質疑があった。

石川朋幸 評議員

ファミリーレストランなどではセントラルキッチンで調理された冷凍食品が使われているが、給食センターでは冷凍食品の利用はされているのか。利用している場合はどのような商品が使われているのか教えてほしい。

給食事務所長

本市の給食は共同調理場方式をとっており、北部調理場と南部調理場で、それぞれ約9千食、中部調理場で約4千食の計2万2千食の給食を調理するため、フライ、卵焼き、ハンバーグなどを原材料から作ることは、限られた時間の中では不可能である。そこで、冷凍食品などの加工品を使用しているが、「焼く・揚げる・蒸す」などの調理は、調理場のフライヤーやスチームコンベクションオーブンを使って行う。加工品ではあるが、一般的に市販されているものではなく、原材料や調味料などの種類、配合を吟味し、アレルギーや添加物をできるだけ使用していないものなど、あらかじめ規格を指定し、この規格に合わせて製造されたものの中から、更に物資検討会にて味や扱い安さを確認して選定している。

石川朋幸 評議員

有機野菜の使用について、最近ではオーガニック野菜などと呼ばれて食品売り場にもコーナーができていますが、給食への導入は考えているか。考え方について教えてほしい。

久野晃広 総務課長

本市の給食は北部、南部、中部の3調理場で計2万2千食の給食を調理している。2万2千食の給食を調理するための食材の条件は、「安定的に供給量が見込まれること」、「食材の大きさや形状などの品質が均一であること」、「異物の混入がないこと」などがある。これらの条件の中で最大の課題は必要な供給量が全て確保できるかどうかである。したがって現段階では本市のような共同調理場方式の給食でオーガニック給食を提供することは、供給量の面から難しいと考えている。

石川朋幸 評議員

供給量のことを言っていると、いつまでも実現に結びつかないと思う。刈谷市では有機農業の実証実験を始めているが、安城市でも将来のために調査・研究を進めてもらいたい。

中村麻理 評議員

キムタクご飯とは、どのようなものか教えてほしい。

石倉真紀 協会栄養士

キムタクご飯の具は、豚細切り肉、はくさい、たくあん、つぼづけキムチで、これをご飯と混ぜ合わせる。協会ホームページにレシピがあるので作ってみてもらいたい。

中村麻理 評議員

豊川市では、午前中にお腹が減って集中できないので給食の開始時間を早めてほしいという要望が生徒たちから出ている話があるが、安城市では給食開始時間はどうなっているか教えてほしい。

理事長

本市では給食準備開始が早いところで12時10分から、遅いところで12時45分からとなっている。配送時間や調理からの喫食時間などの条件で早めるのは難しいが、改善されてきている。始業時間を早めるか午前3時限とすることもデメリットとなり難しい。

議長より報告事項2について他に質疑を求めたが、他に質疑はなく報告事項2の説明を終了した。

報告事項3 「学校給食に関する思い出の作文、絵画・ポスター及びメッセージ」 の入選作品について

給食事務所長より「評議員会資料」をもとにプロジェクターを用いて説明を行った。今年度も忘れられない給食メニュー、みんなと食べた給食、給食当番の思い出や給食のエピソードなど学校給食に関する作文及び絵画・ポスターを小学6年生対象に、そして、給食調理場で働く調理員へのメッセージを中学3年生対象に募集した。応募点数は記載の通りで、作文は昨年度と同数、絵画・ポスター、メッセージについては前年度を上回る応募があった。まず作文であるが、入選作品は記載の9点である。審査員の講評（選定理由等）は、市長賞の作品は「内容がわかりやすく、視点が面白い。乳アレルギーのある子が周りの子に助けられた様子やアレルギー対応（代替食の提供）によってみんなと一緒に給食を食べられるようになった喜びが伝わってくる。」というものであった。議長賞の作品は、給食調理場の調理員のお子さんの作品で「調理員の仕事をよく理解している。給食を実際に家庭で調理しているところも素晴らしい。母親が調理員だということだが、よくコミュニケーションがとれている。」という講評であった。教育長賞の一つは、給食でも人気メニューの「イカフライのレモン煮」について詳しく研究した内容で「イカフライのレモン煮に興味を持ち、自分らしく詳しく調べているところが良い。」という講評であった。9点いずれも、「給食・愛」が感じられるものばかりで、楽しく、ありがたく読ませていただいた。次に、絵画・ポスターの入選作品はご覧の9点である。お手元の資料の6ページになる。作品と審査員の講評をご紹介します。市長賞の作品は「色の使い方が上手。食べているところがイキイキと表現されている。様々な食材がテーブルにのっているところもよい。」という講評であった。議長賞の作品は「メッセージが素敵。楽しい給食の様子がうかがえる」という講評であった。教育長賞の一つは「クレヨンを使用して迫力ある絵が描かれている。表情が良い。」とのことであった。教育長賞2点目の作品は「カレーライスが迫力である。背景がきれい。発想が素敵である。」という講評であった。絵画・ポスターの入選作品はここ北部調理場の見学コーナーに掲示されているので、後ほど時間があればご覧いただきたいと思う。次に調理場で働く調理員へのメッセージについて、入選者は記載の9名である。短い文章なので、生徒たちも参加しやすい部門であると思う。給食に対する気持ちと、調理員への感謝が伝わる作品が多く、授業などを活用して学年ぐるみで取り組んでいただいた

学校もあった。スクリーンは市長賞の作品で、読ませてもらう。審査における調理員の感想を紹介する。「どれほど給食が心と身体のエネルギーになってきたかがよくわかりました。これからもその思い出が力になってくれることを願います。給食を楽しく食べている様子が目に浮かぶ。」というものであった。

入選作品はいずれも「給食が大好き！」ということが伝わってきて、学校給食によって経験した様々なことを織り交ぜながらも、調理員への感謝の気持ちが込められた、大変ありがたい内容であった。調理員も子どもたちからたくさんのあたたかいメッセージをいただき、とても励みになっているようである。

現在、作品集を作成中で、作成でき次第皆様へお送りする。

議長より報告事項3の説明について質疑を求めたが、質疑はなく報告事項3の説明を終了した。

議長は、以上をもって議案の審議を終了した旨を述べ、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は記名及び押印する。

令和6年11月21日

議 長 杉浦 章介 ⑩

議事録署名人 稲留 雄一 ⑩

議事録署名人 石川 朋幸 ⑩